

<ライフプランニングと資金計画>まずは学科試験の過去問に目を通してみましょう。

予習段階では解けなくてあたりまえです。どのような出題があるのかを知るために見ておきましょう。

①～④は、正しいものまたは適切なものに「1」を、誤っているものまたは不適切なものに「2」を□に記入しなさい。⑤～⑦は最も適切な文章、語句、数字またはそれらの組合せを 1)～3) のなかから選び、その番号を□に記入しなさい。

①税理士の資格を有しない者は、具体的な税務相談や税務書類の作成を行ってはならない。

②個人の資産や負債の見直しをする際、デフレでお金の価値が高まるような状況においては、一般に、住宅ローン等の負債を抱える家計の実質的な債務負担額は増加するので、余裕資金が生じた場合、住宅ローン等の負債の返済に充てることも、選択肢となりうる。

③政府管掌健康保険は、業務上または業務外の事由を問わず、被保険者およびその被扶養者に対し、疾病、負傷、出産、死亡などについて保険給付を行う制度である。

④近い将来必要となる子供の教育資金を準備しようとしている人に対して、安全性と流動性重視型の金融商品へ投資するようアドバイスをする。

⑤ファイナンシャル・プランニングにおいて、顧客に対して提案内容等を十分に説明し、顧客がその内容を本当に理解したうえで同意したのかどうかを確認することを、( ) という。

1) 守秘義務の遵守

2) コンプライアンス

3) インフォームド・コンセント

⑥会社勤務(厚生年金保険に10年加入)をやめて個人事業主になったAさん(40歳)が、独立後8年で病死した(国民年金に加入中、保険料は全期間納付済)。遺族がAさんと生計維持関係にあった35歳の妻と10歳の長男であるとき、妻が受け取ることができる遺族年金は、( ) である。

1) 遺族厚生年金と遺族基礎年金

2) 遺族厚生年金のみ

3) 遺族基礎年金のみ

⑦確定拠出年金の個人型年金の加入者が10年以上掛金を拠出している場合は、原則として( ) から年金(老齢給付金)を受け取ることができる。

1) 60歳

2) 65歳

3) 70歳

解答は最後のページ

## <ライフプランニングと資金計画>予習ドリル

講座までにテキストを見ながら以下の予習をし、分野の概要をつかんでおきましょう。  
解答は講座日にお渡しします。

①キャッシュフロー表やライフイベント表は、作りっぱなしではなくどのようなときに手直しを加えるとよいか。

答え：  
\_\_\_\_\_

②可処分所得とは、\_\_\_\_\_から税金と\_\_\_\_\_を差し引いた後の金額を言う。

③一般に40代は人生3大支出である「\_\_\_\_\_」「\_\_\_\_\_」「\_\_\_\_\_」のうち、「\_\_\_\_\_」と「\_\_\_\_\_」がのしかかる時期。しっかりと\_\_\_\_\_についても準備したい。

④狭義の社会保険とは「\_\_\_\_\_」「\_\_\_\_\_」「\_\_\_\_\_」をいう。

⑤健康保険（政府管掌健康保険）における保険料負担は\_\_\_\_\_と\_\_\_\_\_が50%ずつを負担する。

⑥介護保険制度において、第2号被保険者とは\_\_\_\_\_歳以上\_\_\_\_\_歳未満の者をいい、会社員の場合、保険料を\_\_\_\_\_という方法で納める。  
なお、介護サービスにともなう費用は被保険者が\_\_\_\_\_割、\_\_\_\_\_が\_\_\_\_\_割を負担する。

⑦労災保険における保険料負担は\_\_\_\_\_が\_\_\_\_\_を負担する。

⑧国民年金の第一号被保険者とはどのような者をいうのか。

⑨公的年金は、どうなったときに受け取れるのか3つ上げなさい。

• \_\_\_\_\_ • \_\_\_\_\_ • \_\_\_\_\_

⑩「老齢基礎年金」を受給した。これは\_\_\_\_\_年金からの給付である。

⑪\_\_\_\_\_歳から老齢基礎年金を受けるには、原則\_\_\_\_\_年以上の受給資格期間が必要。

⑫企業年金は大きく分けて、\_\_\_\_\_が決められている「確定給付型年金」と、\_\_\_\_\_が決められている「確定拠出年金」の2種類がある。

⑬確定拠出年金の特徴を3つあげなさい。

•

•

•

⑭住宅ローンの返済方法には大きく分けて2種類があり、\_\_\_\_\_返済は毎月の支払額は変わらずに元金と利息の内訳が変わる。\_\_\_\_\_返済は元金にあたる部分の支払額が\_\_\_\_\_。

過去問の解答

○×問題	① 1	② 1	③ 2	④ 1
3択問題	⑤ 3	⑥ 3	⑦ 1	